

教科目名 地理 (Geography)

学科名・学年 : 全学科 3年

単位数など : 必修 2単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 授業時間 46.5 時間)

担当教員 : 久保山 力也

授業の概要			
現在の世界を理解するために、本講義では、地形や気候からはじまり、人口や民族・宗教などといった観点から、系統的に世界を観察・分析します。それらを踏まえ、講義後半では、アメリカと日本を地誌的に考察することにします。			
達成目標と評価方法			大分高専目標 (A1)
(1) 世界の地形、気候について理解する。(定期試験)			
(2) 世界の気候区分の基準や特色を理解する。(定期試験)			
(3) 世界の人口分布・人口問題と、世界の生活文化／言語と宗教／民族と国家について理解する。(定期試験)			
(4) アメリカと日本の特色と課題を理解する。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	世界の地形 (1) 世界の地形 (2) 河川がつくる地形 海岸の地形、その他の特徴的な地形 地球規模でみた気温と降水量／大気の流れ 海洋の影響と気候の地域性、水の循環と利用 まとめ	○系統地理的考察とは何かを理解できる。 ○大陸や大洋の地形について理解できる。 ○河川や海岸の地形について理解できる。 ○気候の要素・因子について理解できる。 ○大気大循環や海洋の大循環などについて理解できる。 ○水の循環と利用できる水について理解できる。	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 世界の気候区分 世界規模からみた植生／土壌 熱帯／乾燥帯の気候と生活 温帯／冷帯・寒帯の気候と生活 日本の気候、まとめ	○気候区分の基準・特色を理解できる。 ○気候の変化に伴う植生の変化、成帯土壌や間帯土壌などについて理解できる。 ○日本の気候について理解できる。	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
16 17 18 19 20 21 22	前期期末試験の解答と解説 世界の人口分布と人口増加 人口増加地域／減少地域と人口問題、日本の人口問題 世界の衣服／食生活／住居 世界の言語／宗教 民族と国家、民族・領土問題の多様性 国家群で結びつく世界、国際連合の役割 日本の領域と領土問題、まとめ	○世界の人口分布と人口増加の要因を理解できる。 ○多産や少子化の要因を理解できる。 ○世界の生活文化 (衣食住) の地域的特色を理解できる。 ○世界の言語／宗教の分布を理解できる。 ○民族と国家の関係、そしてそれらをめぐる問題を理解できる。 ○国際連合の役割と課題を理解できる。	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24 25 26 27 28 29	後期中間試験の解答と解説 指標によって異なる地域区分、地誌的な考察方法 アメリカ (1) アメリカ (2) 現代世界と日本 まとめ	○地誌的考察とは何かを理解できる。 ○アメリカを様々な視角から理解できる。 ○世界の中の日本の特色と課題を理解できる。	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		しっかり復唱すること。	【総合達成度】
教科書		山本正三ほか著、『新編 詳解地理 B』、『現代地図帳』、二宮書店。	
参考図書		適宜、授業中に紹介します。	
自学上の注意		受講前に教科書の該当箇所を予習しておいてください。	
関連科目		現代社会、政治・経済、日本史、世界史。	
総合評価		達成目標の (1) ～ (4) について 4 回の定期試験により評価します。総合評価 60 点以上を合格とします。再試験は、総合評価が 60 点に満たない者に対して実施します。	【総合評価】 点